

平成25年度

# 大学病院情報マネジメント部門 連絡会議

抄録集

## 新・大学病院 情報マネジメントの幕開け 病院・情報・システムの共存・共栄

Information

System

Hospital

会期 平成26年2月13日(木)・14日(金)

会場 ホテルクレメント徳島(徳島県徳島市)

大会長 安井 夏生(徳島大学病院 病院長)

# ご挨拶

---

平成 25 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議  
大会長 安井 夏生  
(徳島大学病院 病院長)

このたび、平成 26 年 2 月 12 日(水)～14 日(金)の 3 日間にわたり、徳島市のホテル クレメント徳島を会場として、平成 25 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議を開催する運びとなりました。

本会議は、国立大学病院のみならず、公立・私立大学病院ならびに一般病院等の病院情報マネジメントに携わるあらゆる職種が一同に集い、医療の質・安全性の保証・向上、病院経営・業務の効率化・円滑化等について、臨床現場の実情に基づいて具体的な議論を交わす貴重な場となっております。

平成 23 年度の「医療情報にかかわる本音の controversy —電子カルテ、DPC、クリニックカルパスの光と影—」、平成 24 年度の「情報マネジメントの再評価 —やってきたこと、これからすべきこと—」の議論を受け、本年度の会議では、PDCA サイクルの C から A、そして、次なる P に向かうフェーズと捉え、「新・大学病院情報マネジメントの幕開け ～病院・情報・システムの共存・共栄～」と題して、次なる病院情報マネジメントの在り方を議論したいと思います。病院情報システムの開発・導入・保守に携わる企業の皆様と多職種の参加者が、医療と情報技術の共存・共栄、そして共創を目指して活発な議論と意見交換が行われる事を期待しております。

# 日程表

2月12日(水)																											
	8	30	9	30	10	30	11	30	12	30	13	30	14	30	15	30	16	30	17	30	18	30	19	30	20	30	21
幹事会・部長会 金扇 東																	医療情報 部長会 (幹事会)	医療情報・企画関連 部長会									
部長懇親会 溜水苑																											医療情報部長会 懇親会

2月13日(木)																													
	8	30	9	30	10	30	11	30	12	30	13	30	14	30	15	30	16	30	17	30	18	30	19	30	20	30	21		
A会場 クレメントホール 西・中				開 会 式	病院情報 システム (学生教育)			地域連携			ランチョン セミナー [1]			看護			部長会 (災害対策・ アクセス制御)									全体懇親会			
B会場 クレメントホール 東					歯科			情報交換 (デバイス)			ランチョン セミナー [2]			放射線 (医用画像)			診療情報管理	診療情報 管理士 連絡会											
C会場 金扇 東					臨床研究 治験			UMIN 小委員会 (事務)			ランチョン セミナー [3]			薬剤			UMIN 小委員会 (薬剤)	UMIN 協議会 幹事会											
P会場 ホワイエ					ポスター展示													立会											
企業展示1 金扇 西					企業展示 (12:15~13:15:ランチスペース)																								
企業展示2 清風・薫風・緑風					企業展示 (12:15~13:15:ランチスペース)																								
展示ルーム 橋					展示(ホスピタリティ)ルーム [富士通]																								
展示ルーム 相生					展示(ホスピタリティ)ルーム [日本電気(NEC)]																								
展示ルーム 桂					展示(ホスピタリティ)ルーム [インターシステムズ ジャパン]																								

2月14日(金)																												
	8	30	9	30	10	30	11	30	12	30	13	30	14	30	15	30	16	30	17	30	18	30	19	30	20	30	21	
A会場 クレメントホール 西・中					病院マネジメント (事務)			基調講演			ランチョン セミナー [4]			総会・閉会式	UMIN 総会													
B会場 クレメントホール 東					情報交換 (インテグレーション)					ランチョン セミナー [5]																		
C会場 金扇 東					検査											運営委員会												
P会場 ホワイエ					ポスター展示																							
企業展示1 金扇 西					企業展示																							
企業展示2 清風・薫風・緑風					企業展示																							
展示ルーム 橋					展示(ホスピタリティ)ルーム [富士通]																							
展示ルーム 相生					展示(ホスピタリティ)ルーム [日本電気(NEC)]																							
展示ルーム 桂					展示(ホスピタリティ)ルーム [インターシステムズ ジャパン]																							

友会開

# プログラム

---

## 開会式

日時：2月13日（木）8：45～9：00

会場：A会場（クレメントホール 西・中）

## 基調講演

### 大学病院マネジメントの現状と課題

日時：2月14日（金）11：00～12：00

会場：A会場（クレメントホール 西・中）

演者：手島 英雄（文部科学省高等教育局医学教育課大学病院支援室長）

## セッション

### 1 病院マネジメント（事務）

#### 大学病院に求められる「研究力」の向上を推進させる事務組織

～臨床研究を支える人材育成と管理運営体制の構築～

日時：2月14日（金）9：00～11：00

会場：A会場（クレメントホール 西・中）

座長：後藤 郁則（徳島大学病院）

昨今、医療技術の高度化や超高齢社会の到来等、医療を取り巻く環境が大きく変化する中、臨床研究の実用化の更なる加速、国際水準の臨床研究・医師主導治験等の促進や適切な実施が強く求められ、特定機能病院の承認要件においても見直しが検討されているところです。そこで、今回は「臨床研究」に焦点を当て、事務部に求められている支援、人材育成や管理運営体制の構築について、実施にかかるマネジメント（体制の整備、財源の確保）と、その施策が病院にもたらした効果、解決された問題や新たに生じた課題等について検討することを目的とします。

#### 1. 研究支援強化への新たな取り組み

～臨床研究支援体制強化に伴う、事務組織改編・強化～

安田 浩明（名古屋大学医学部附属病院）

大場 亮（名古屋大学医学部附属病院）

2. 三重大学病院の臨床研究支援体制について  
～一地方大学病院の生き残りをかけたメディカルイノベーションの取り組み～  
宗近 誠一郎 (三重大学医学部附属病院)  
平山 亮 (三重大学医学部附属病院)
3. 京大病院の臨床研究における取組について  
～今事務に求められる役割、支援について～  
國友 陵一 (京都大学医学部附属病院)
4. 岡山大学病院における臨床研究支援体制  
～国際水準の臨床研究メガホスピタル化を目指して～  
人見 雅子 (岡山大学病院)
5. 高知大学医学部附属病院の臨床研究支援体制  
正木 博 (高知大学医学部附属病院)  
上田 涼平 (高知大学医学部附属病院)
6. 病院経営に必要な人材養成  
～データから病院を支えるために必要なプロを～  
小出 利一 (群馬大学医学部附属病院)
7. 大学病院における事務職の戦略的貢献  
北村 臣 (関西医科大学附属枚方病院)
8. 真に機能する地域治験・臨床研究ネットワーク構築に向けて  
豊の国臨床試験ネットワークの取り組みと今後の方策  
小手川 勤 (大分大学医学部附属病院)

## 2 病院情報システム (学生教育)

### 学生教育環境における病院情報システム機能と運用

日時：2月13日(木) 9:00～10:30

会場：A会場 (クレメントホール 西・中)

座長：浜野 英明 (信州大学医学部附属病院)

石田 博 (山口大学医学附属病院)

演者：浜野 英明 (信州大学医学部附属病院)

津久間 秀彦 (広島大学病院)

赤池 雅史 (徳島大学)

岸田 佐智 (徳島大学)

教育機関である大学において、臨床実習の取り組み方は様々で、多様化している。また、近年、患者プライバシーと学生教育の観点の競合がクローズアップされ、運用面でも様々な課題が目立ち始めている。

診療録・医療情報の取り扱いにおいても、各現場の裁量で曖昧に済ませられていた紙媒体の運用から、電子化・情報化の進展に伴い、種々の問題が表面化している。

特に、診療参加型臨床実習が推進される中で、病院情報システムを利用した臨床実習の支援の在り方を、真正面から検討すべき時期が到来したと思われる。

本セッションでは、あらかじめアンケート調査により把握された各大学の臨床実習の運用状況と課題の結果や、医学生教育・看護学生教育を担う立場からの現状や要望を踏まえ、臨床実習・学生教育を支援する病院情報システムの運用・機能のあるべき姿を議論する。

### 3 部長会（災害対策・アクセス制御）

日時：2月13日（木）15：15～16：45

会場：A会場（クレメントホール 西・中）

座長：高林 克日己（千葉大学医学部附属病院）

森口 博基（徳島大学）

演者：大江 和彦（東京大学医学部附属病院）

大原 信（筑波大学）

浜野 英明（信州大学医学部附属病院）

文部科学省の補正予算で取り組まれている、日本の42国立大学の45附属病院の各医療情報システムが保有する電子化された医療情報の主要部分を遠隔地に情報ネットワークを經由してバックアップを行う、国立大学病院医療情報システムデータ遠隔バックアップシステムの経緯・現況を報告する。

続いて、部長会副会長を委員長とした災害時バックアップシステム運用検討WGで検討・作成されている運用手順の草案をもとに、議論する。

また、学生教育、地域連携、在宅医療など様々な場面で、病院情報システムの有用性が示されているなか、臨床・教育・研究・地域貢献などに取り組む大学病院において、病院情報システムへのアクセス制御・運用管理の今後のあり方について議論する。

## 4 診療情報管理

### 診療情報管理の10年先を考える

日時：2月13日（木）15：15～17：15

会場：B会場（クレメントホール 東）

座長：吉野 孝博（福井大学医学部附属病院）

井沖 浩美（高知大学医学部附属病院）

診療情報管理業務を取り巻く環境は、この10年間で大きく変化している。この最たる要因として、平成18年頃からの情報化（主に、電子カルテの導入）が考えられる。紙カルテの時代には難しかった様々な情報の取得や診療録等への複数ユーザーの同時アクセスなどが実現され、診療情報に対する病院スタッフの考え方が根本から変化したと言える。

また、近年の医療の質と安全への関心の高まりから、病院の医療の質の証明や病院機能評価などに際して、診療情報の利活用が求められている。

更に、平成12年度「診療録管理体制加算」、平成16年度「DPC制度」、平成20年度「勤務医師事務作業補助の推進」の導入、平成19年のがん対策推進基本計画での「院内がん登録」など、診療報酬制度の面からも診療情報管理体制の整備が求められている。

このような背景から、各大学病院で、診療情報管理士の雇用や診療情報管理部門の設置など、組織面、業務内容面等、様々な取り組みがなされている。

本セッションでは、診療情報管理の代表的業務の現状と課題、今後の展望をご発表いただき、診療情報管理を取り巻く、医師、看護師、医師事務作業補助者などの立場からのご意見もいただき、現況の評価と、10年後の診療情報管理業務について議論する。

#### 1. 院内がん登録、医療支援センターの現状

院内がん登録、医療支援センター業務担当の立場から

松村 希代子（徳島大学病院）

#### 2. 診療情報の活用における診療情報管理士の関わり方

村田 泰三（大阪大学医学部附属病院）

#### 3. 電子カルテシステムと診療情報管理士の関わりについて

西山 謙（九州大学病院）

#### 4. 国立大学病院における診療情報管理士の卒後教育の一例

初山 貴（北海道大学病院）

#### 5. 医師の立場から見た、診療情報管理の現況と10年先への期待

白鳥 義宗（名古屋大学医学部附属病院）



6. 看護師の立場から見た、診療情報管理の現況と10年先への期待

大北 美恵子 (福井大学医学部附属病院)

7. 医師事務作業補助者の立場から見た、診療情報管理の現況と10年先への期待

瀬戸 僚馬 (東京医療保健大学)

## 5 看護

### 他職種との連携に向けた情報の共有とは？

日時：2月13日(木) 13:30~15:00

会場：A会場(クレメントホール 西・中)

座長：木田 菊恵 (徳島大学病院)

五島 光子 (岐阜大学医学部附属病院)

近年、医師不足や医療の高度化・複雑化に伴う業務の増大により医療現場が疲弊している現状の中、多種多様な医療スタッフが、高い専門性に基づいて目的と情報を共有し、業務を分担するとともに、互いに連携・補完し合い、患者の状況に的確に対応した医療を提供する「チーム医療」の実践が求められています。

私たち看護職は、患者や家族と接する時間が最も多く、看護を通して得た情報を医師やメディカルスタッフ(病棟内外、施設内外)とも情報を共有し、より安全で安心な医療の提供に努めています。

多くの職種によるチーム医療を効果的かつ効率的に推進するには、患者情報の一元化・共有化が重要なポイントとなります。

今回のセッションにおいては、患者・家族を中心とした質の高い医療の提供、医療スタッフの負担軽減、医療安全の向上を図るために、「他職種との連携」及び「他職種との情報共有」の観点から論議して頂きたい。

1. 「寄り添う看護」を目指した患者参画型看護計画立案方式導入への取り組み

中村 裕子 (長崎大学病院)

2. 役割拡大実践能力育成プログラムの実施

患者の意思決定を支援するための補足説明を担える看護師の育成

鈴木 察子 (徳島大学病院)

3. 退院後の生活を見据えた退院調整看護師育成研修の取り組み

亀岡 泉 (愛媛大学医学部附属病院)

4. 長崎大学病院における入院時患者情報の利用の現状と今後の課題

南 真由美 (長崎大学病院)

5. 看護基本情報の二次利用による文書作成の省力化と他職種間での情報共有の促進

中野 あけみ (徳島大学病院)

6. 病院総合医療情報システム障害時のマニュアル周知へ向けての課題

岩下 明子 (岐阜大学医学部附属病院)

## 6 歯科

### 歯科システムの評価と課題

日時：2月13日(木) 9:00~10:30

会場：B会場(クレメントホール 東)

座長：玉川 裕夫 (大阪大学歯学部附属病院)

鈴木 一郎 (新潟大学医歯学総合病院)

多くの大学病院で診療録の電子化が行われ、歯科・口腔外科領域でも医科と共通のあるいは独自形式の電子診療録が導入されています。歯科領域では保険請求上の強い制約を受けつつも、よりよい仕組みを目指した取り組みがなされてきましたが、試行錯誤の時期を過ぎ、システム評価が求められる時期に来ています。そのような背景で、本セッションでは4つの組織からご発表をいただきます。

まず、”歯科のシステム稼働3年後の評価”と題した新潟大学の新美先生のご発表では、診療現場のアンケート結果を紹介いただきます。同大のシステムは、歯科領域特有の予約に力を入れたことや医科と歯科で1患者1カルテ化したこともあって、おむね現場の支持を得ています。

次に、”九州大学病院における病院情報システムリプレイスと歯科システムの評価”と題して九州大学の鮎川先生にご発表いただきます。同大では、ベンダが新しくなり二代目の電子診療録を構築されていましたが、端末操作の変更を含め紙から電子より電子から電子への移行の方が多くの問題を生じました。

そして、東京医科歯科大学の大林先生には”異なるベンダで構成された2病院間でのシステムと情報の共有化”と題してご発表いただきます。同大では、医科と歯科で別ベンダのシステムで動いていたが、新システムでは医歯の連携強化を目的に、部門統合を含む統一システムを導入できましたが、SS-MIXを用いた診療情報共有化は引き続き検討中です。

最後に、”SS-MIX2と歯科・口腔外科領域での歯式表示”と題し、座長の玉川先生にご発表いただきます。国立大学病院のデータバックアップと関連して、歯科の病名情報が部位情報とともにSS-MIX2形式で蓄積できるようになります。

1. 異なるベンダーで構成された2病院間でのシステムと情報の共有化  
大林 尚人 (東京医科歯科大学歯学部附属病院)
2. 新潟大学病院における歯科電子カルテの評価と今後の課題  
新美 奏恵 (新潟大学医歯学総合病院)
3. 九州大学病院における病院情報システムリプレイスと歯科システムの評価  
鮎川 保則 (九州大学大学院)
4. SS-MIX2 と歯科・口腔外科領域での歯式表示  
玉川 裕夫 (大阪大学歯学部附属病院)

## 7 薬剤

### 薬剤業務関連システムとの共存共栄を考える

日時：2月13日(木) 13:30~15:00

会場：C会場(金扇 東)

座長：芳地 一 (香川大学医学部附属病院)

水口 和生 (徳島大学病院)

病院における薬剤師の業務及び人員配置に関する検討会報告書の中で「病院薬剤師のあるべき業務と役割」が示されて以来、病院の規模や機能に応じて新しい業務展開が図られてきました。これらの業務展開が一人ひとりの薬剤師の努力によって実現されてきたことはいまでもありません。しかし一方では、カルテの電子化や薬剤関連システムといった情報インフラの整備が、今日の薬剤業務の効率化や情報の共有化のために必要不可欠なツールとして位置づけられるようになってきました。

今回の薬剤セッションは、ますます進化し多様化する薬剤業務を行う薬剤師と薬剤関連システムが如何に共存共栄を図るかといった点について意見交換していきたいと思えます。なお、口演内容を特定の話題に限定せずに中央業務、持参薬管理、病棟薬剤業務から8施設の薬剤関連システム事例について紹介いただきます。

1. 徳島大学病院薬剤部におけるオーダーリングシステムデータの利用について  
伏谷 秀治 (徳島大学病院)
2. 病棟薬剤業務に向けた支援システムの構築と運用  
岡崎 雅史 (高知大学医学部附属病院)
3. 病棟標準業務支援ツールの構築  
長澤 悠子 (山口大学医学部附属病院)
4. 病院情報システム移行に伴う新たな持参薬管理システムの運用  
高田 敦史 (九州大学病院)

5. 多職種参加型の電子カルテを用いた持参薬管理システムの活用  
関屋 裕史 (宮崎大学医学部附属病院)
6. 薬剤使用記録の正確な把握とその活用  
横山 威一郎 (千葉大学病院)
7. 入院内服薬オーダーでの開始タイミングに応じた自動 RP 分割機能の開発と効果  
五十嵐 敏明 (福井大学医学部附属病院)
8. RF-ID を利用した調剤進捗管理システムの導入と評価  
阿部 正樹 (群馬大学医学部附属病院)

## 8 放射線 (医用画像)

### 医用画像データ・情報の管理・利用

日時：2月13日(木) 13:30~15:00

会場：B会場(クレメントホール 東)

座長：木村 映善 (愛媛大学医学部附属病院)

池田 龍二 (熊本大学医学部附属病院)

昨今の様々なデバイス・情報技術の登場・進化を受け、放射線部門業務、または、医用画像データ・情報の利活用での事例や今後の発展性を検討する。次に、放射線部門におけるマネジメント思考の導入事例や病院全体思考での医用画像管理事例を発表していただき、最後に、新しいデバイスの有効利用や医用画像データの統合的管理など、マネジメント・病院全体最適の視点から、今後の放射線部門業務・医用画像管理について議論する。

1. 放射線部門業務・医用画像管理への ICT の有効活用  
ー効率化, 安全性を考慮したシステム・運用とは?ー  
池田 龍二 (熊本大学医学部附属病院)
2. 脳卒中診療におけるスマートフォンを用いた情報交換の有用性  
里見 淳一郎 (徳島大学病院)
3. 半導体 SPECT 装置の導入に関する検討  
竹永 枝里子 (熊本大学医学部附属病院)
4. オブジェクトストレージの導入と運用  
藤井 友広 (呉共済病院)

## 9 検査

### 検査情報・管理システムの構築と活用

日時：2月14日（金）9：30～11：00

会場：C会場（金扇 東）

座長：宮子 博（大分大学医学部附属病院）

高松 典通（徳島大学病院）

検査情報・管理システムの構築と活用について、話題を提供していただきます。

第一には、生理検査部門における電子カルテシステムとの連携においては、脳波、心電図、呼吸機能検査他について、検査受付予約から検査結果の報告まで、ネットワークを活用した運用に関して最新の内容をお話しいたします。

第二には、臨床検査業務支援ツールの開発とその運用では、臨床検査室の組織マネジメントに有用な管理支援ツールとして、グループウェア、文書管理システム、設備管理システム、教育管理システムなどについて、開発の経緯、運用状況等を発表していただきます。

第三には、検査室では分析装置から出力される検査結果は、担当技師がその正確性・信頼性を評価した後に送信しますが、評価手段としてシステムを用いることが増えています。今回そのプログラムに組み入れるロジック内容、実際の評価についてうかがいます。

第四には、外部に委託した検査の結果報告は紙媒体から電子媒体へと移行している中、病院情報システム（HIS）、検査情報システム（LIS）との情報通信はデータ交換様式、個人情報保護などが課題となります。電子報告の現状と課題について報告していただきます。

#### 1. 生理検査部門における電子カルテシステムとの連携

平岡 葉月（徳島大学病院）

#### 2. 臨床検査室業務支援ツールの開発とその運用

吉子 健一（名古屋大学医学部附属病院）

#### 3. PCA（principal component analysis）管理システムによる臨床検査支援

上野 民生（大分大学医学部附属病院）

#### 4. 検査センターからの電子報告～現状と課題～

西川 潤（株式会社エスアールエル）

## 10 地域連携

### 地域連携業務における情報マネジメント

日時：2月13日（木）10：30～12：00

会場：A会場（クレメントホール 西・中）

座長：櫃本 真事（愛媛大学医学部附属病院）

鈴木 一郎（新潟大学医歯学総合病院）

少子高齢化、ならびに、平均在院日数の短縮等に伴い、近年、急性期病院における地域連携部門における、退院支援・退院調整業務への期待は高い。しかし、他部門に比べて、IT化・情報化は発展途上である。

本セッションでは、各医療機関の具体的な取り組み事例をご発表いただき、最後に、国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会で行われた、地域連携部門における医療情報に関するアンケート調査の結果を踏まえて、地域連携部門にとっての医療情報の重要性、医療情報部門との連携・協働の必要性・有用性について協議し、今後への展望を具体的に検討する。

#### 1. 退院支援機能の開発とその特徴

藤井 あゆみ（香川大学医学部附属病院）

#### 2. 紹介患者の受診後の状況に見る紹介元医療機関の診療能力分析の試み

中村 敦（山口県済生会下関総合病院）

#### 3. 周産期における入院時スクリーニングシートの開発

長内 恵里（香川大学医学部附属病院）

#### 4. 神経疾患患者に対するスクリーニング兼アセスメントシートの導入と考察

竹内 志布子（香川大学医学部附属病院）

#### 5. 地域連携部門における医療情報活用の潮流

～国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会でのアンケート結果より～

櫃本 真事（愛媛大学医学部附属病院）

## 11 臨床研究・治験

### 臨床研究・治験におけるICT活用の現状と今後

日時：2月13日（木）9：00～10：30

会場：C会場（金扇 東）

座長：横井 英人（香川大学医学部附属病院）

楊河 宏章（徳島大学病院）

臨床研究・治験の推進に IT を活用するという考えが導入されて久しい。従来は、IT を活用した治験手続の効率化、などのように、治験における企業負担を軽減することが中心課題となっていた。しかし、最近の潮流は、治験に加えて臨床研究、しかもより質の高い臨床研究の推進に ICT を活用するという方向へと転じつつある。

臨床研究・治験活性化 5 か年計画 2012 (平成 24 年 3 月 30 日、文部科学省・厚生労働省) では、課題の 1 つとして、「IT 技術の更なる活用等」が挙げられている。特に、「臨床研究中核病院等の臨床研究の中核的役割を担う医療機関においては、病院情報システムと EDC との連動について取り組む」、また、「臨床研究の効率的な運用に向けて、共用データセンターの設置を検討する。具体的には、共用データセンターについては、臨床研究中核病院や日本主導型グローバル臨床研究拠点に求められる機能に含まれていることから、それらの整備の進捗状況を評価しつつ、多施設共同臨床研究におけるセントラル(共用データセンター) 及びローカル(各参加機関)のデータマネジメント業務の在り方等について検討する」、といった事項が示されている。

平成 24 年度から選定が開始された臨床研究中核病院等にあつては、臨床研究・治験活性化 5 か年計画 2012 に沿った取り組みが進められている。一方、それ以外の施設にあつても、それぞれの施設の特性を生かした取り組みが行われているものと思われ、これらの情報の共有はいずれの施設にとっても意義の高いものと考えられる。

本セッションでは、まず指定演題として、臨床研究中核病院における取組を、岡山大学病院、九州大学病院、京都大学医学部附属病院からご報告頂きます。さらに、公募演題として、長崎大学病院、高知大学医学部附属病院からも、それぞれの施設における取組を紹介して頂き、臨床研究・治験における ICT 活用の今後について皆様と一緒に考えたいと思います。

(指定演題)

1. 平田 泰三 (岡山大学病院)
2. 岸本 淳司 (九州大学病院)
3. 角 栄里子 (京都大学医学部附属病院)

(公募演題)

4. 治験薬温度管理における 温度一元管理システムの導入およびその効果  
神田 紘介 (長崎大学病院)
5. 倫理審査申請システム (電子システム) における倫理委員会事前チェックの評価  
堀田 千栄 (高知大学医学部附属病院)

## 情報交換会

### 1 デバイス

日時：2月13日（木）10：30～12：00  
会場：B会場（クレメントホール 東）  
座長：木村 通男（浜松医科大学医学部附属病院）  
森口 博基（徳島大学大学院）

登壇企業：

日本電気株式会社  
富士通株式会社  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
東芝医療情報システムズ株式会社  
株式会社コア・クリエイトシステム（下川 忠弘（久留米大学））

### 2 インテグレーション

日時：2月14日（金）9：00～11：00  
会場：B会場（クレメントホール 東）  
座長：山下 芳範（福井大学医学部附属病院）  
島井 健一郎（徳島大学病院）

登壇企業：

ヴイエムウェア株式会社  
シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社  
EMC ジャパン株式会社  
アステック株式会社  
トレンドマイクロ株式会社  
マカフィー株式会社

指定発言：

日本電気株式会社  
富士通株式会社  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
東芝医療情報システムズ株式会社

## 総会・閉会式

日時：2月14日（金）13：30～15：00  
場所：A会場（クレメントホール）



## ランチョンセミナー

### ランチョンセミナー 1

共催：日本電気株式会社

#### MegaOak シリーズの過去・現在・未来

日時：2月13日（木）12：15～13：15

会場：A会場（クレメントホール 西・中）

司会：山口 琢也（日本電気株式会社）

演者：遠藤 晃（北海道大学病院）

### ランチョンセミナー 2

共催：アステック株式会社 / 株式会社パルソフトウェアサービス

#### 統合ストレージの構築 ～階層化ストレージとオブジェクトストレージの融合～

日時：2月13日（木）12：15～13：15

会場：B会場（クレメントホール 東）

司会：中島 英明（アステック株式会社）

演者：木村 映善（愛媛大学医学部附属病院）

### ランチョンセミナー 3

共催：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

#### 信頼される医療 IT のパートナーとして ～画像データからビッグデータまで～

日時：2月13日（木）12：15～13：15

会場：C会場（金扇 東）

演者：大越 厚（GE ヘルスケア・ジャパン株式会社）

松葉 香子（GE ヘルスケア・ジャパン株式会社）

### ランチョンセミナー 4

共催：株式会社ピーエスシー

#### 医事・看護部門での、業務の効率化への挑戦

日時：2月14日（金）12：15～13：15

会場：A会場（クレメントホール 西・中）

座長：遠藤 晃（北海道大学病院）

演者：田中 勝弥（東京大学医学部附属病院）

田木 真和（徳島大学病院）

## ランチョンセミナー 5

共催：シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社

### 医療における仮想化技術の活用状況と今後の展望

日時：2月14日（金）12：15～13：15

会場：B会場（クレメントホール 西・中）

司会：足立 修（シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社）

演者：島井 健一郎（徳島大学病院）

## 各種委員会

医療情報部長会・幹事会

2月12日（水）15：00～16：00 C会場（金扇 東）

医療情報・企画関連部長会

2月12日（水）16：00～18：00 C会場（金扇 東）

大学病院診療情報管理士連絡会

2月13日（木）17：15～18：15 B会場（クレメントホール 東）

UMIN 小委員会（事務）

2月13日（木）11：00～12：00 C会場（金扇 東）

UMIN 小委員会（薬剤）

2月13日（木）15：15～17：15 C会場（金扇 東）

UMIN 小委員会（幹事会）

2月13日（木）17：15～18：15 C会場（金扇 東）

運営委員会

2月14日（金）15：30～16：30 C会場（金扇 東）

## ポスター発表

日 時： 2月13日（木） 9：00 ～ 18：15

2月14日（金） 9：00 ～ 12：00

立 会 い： 2月13日（木） 17：15 ～ 18：15

（ポスター発表者は立ち会い時間中、ポスターの前に待機をお願いいたします）

会 場： P会場 3階ホワイト

### 1 病院マネジメント

P1-01 若手事務職員が描いた“理想の国立大学病院像”

～第7回 国立大学附属病院若手職員勉強会 概要報告～

亀井 大史（東京大学医学部附属病院 事務部経営戦略課）

P1-02 病院における医療系 GP 支援についての考察

～法人化後の“成果を出す”PMO 的業務と事業支援～

池田 一郎（筑波大学病院 総務部経営管理課（経営戦略））

P1-03 高知大学医学部附属病院の臨床研究支援体制

正木 博（高知大学 医学部・病院事務部総務企画課研究推進室）

P1-04 ファシリティマネジメントを活かした新研究棟整備計画

中畠 真理子（東京大学医学部附属病院 事務部経営戦略課）

P1-05 院内コンプライアンスの向上による保険診療の適正化

宇都 由美子（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 医療システム情報学）

P1-06 特別外来のイノベーション

～プライバシー強化と病棟稼働率 up につなげるために～

小針 瞳（東京大学医学部附属病院 事務部医事課）

P1-07 病院経営活性化手法としての「診療科・中央診療部門との情報/意見交換会」

安藤 和忠（千葉大学医学部附属病院 企画情報部）

P1-08 高知大学医学部附属病院における病院収入改善への取り組み

高村 境次（高知大学 医学部・病院事務部会計課）

P1-09 システム管理部門におけるアプリケーション開発

—満足度と資源配分のジレンマ解消に向けて—

小谷 将司（京都大学医学部附属病院 経営管理課）

P1-10 東京大学医学部附属病院における医療機器の中央管理に向けた取り組み

西村 勇樹雄（東京大学医学部附属病院 事務部経営戦略課）

P1-11 G-ポータルを利用した病院情報システムマネジメント

藤原 琢也（岐阜大学医学部附属病院 事務部経営企画課医療情報係）

## 2 病院情報システム

- P2-01 院内への情報周知のための新たなる手段「くりっぱー」の運用までの経緯と今後の課題  
新 秀直（東京大学医学部附属病院 パブリック・リレーションセンター）
- P2-02 電子カルテ端末からメール・インターネットを利用する仮想環境システムの構築と導入効果  
園田 浩富（大分大学医学部附属病院 医療情報部）
- P2-03 日本歯科大学附属病院における私物 PC の状況調査  
安藤 文人（日本歯科大学附属病院）
- P2-04 日本歯科大学附属病院教職員の私物携帯デバイスの業務利用に対する意識調査  
安藤 文人（日本歯科大学 附属病院）
- P2-05 患者呼出システムを導入した外来診療の現状と課題  
和田 良香（広島大学病院 看護部管理室）
- P2-06 新病棟移転に伴う病院情報システムの改良  
村永 文学（鹿児島大学病院 医療情報部）
- P2-07 重症系病棟における内服薬、注射薬の運用に関する問題について  
－頻繁に変更される複雑な指示への対応－  
高田 彰（国立循環器病研究センター）
- P2-08 課題解決へのデータ可視化モデルの構築について  
齋藤 英雄（愛媛大学医学部附属病院 医事課）
- P2-09 統合マスタの構築 物流、電子カルテ・オーダー、医事、部門システムマスタの一元化  
山下 貴範（九州大学病院 メディカル・インフォメーションセンター）
- P2-10 診療・研究・教育部門を統合する共通認証基盤の確立  
桑田 成規（国立循環器病研究センター 情報統括部）
- P2-11 CachedRowSet の利用について  
野口 大輔（浜松医科大学 医事課）
- P2-12 広域臨床研究データ管理システムの運用成果中間報告  
福田 優子（九州大学病院 メディカル・インフォメーションセンター）
- P2-13 医療機関に向けた BCP 策定率向上の取り組み  
－BCP 策定支援システムの WEB 設置と課題－  
大原 達美（東京医科大学病院 医療情報室）

### 3 診療情報管理

- P3-01 電子カルテ導入後の紙文書保管方法の現状と課題  
泉谷 光次郎 (和歌山県立医科大学附属病院 医療情報部)
- P3-02 「電子カルテ」環境下における院内帳票の整備—診療データの利活用を考えて—  
佐藤 真子 (筑波大学附属病院 医療情報部)
- P3-03 診断書作成システムを活用した診断書窓口の運用  
小菅 みゆき (群馬大学医学部附属病院 医療サービス課)
- P3-04 ホームページからの診断書作成状況の確認について  
坪 源洋 (東京大学医学部附属病院 事務部医事課)
- P3-05 退院時サマリー承認率向上のためのサポート体制の強化とその評価  
辻岡 和孝 (富山大学附属病院 経営企画情報部)
- P3-06 入院診療録監査活動におけるオーデイトスコア分析  
正木 義朗 (大阪医科大学附属病院 診療情報管理室)
- P3-07 管理料・指導料に関するカルテ記載の監査について  
五十嵐 真由美 (福井大学医学部附属病院 診療情報管理部)
- P3-08 がん登録における県と大学病院の関わり  
岡芹 亜紀 (群馬大学医学部附属病院 医療サービス課)
- P3-09 高知県がん登録事務局としてのがん統計整備の試み  
宮本 千帆 (高知大学医学部附属病院 診療情報管理室)
- P3-10 複数名エントリー方式によるバイオバンク主病名登録システムの開発  
山田 ひとみ (国立循環器病研究センター 情報統括部)
- P3-11 フリー入力された傷病名を入力中にリアルタイムにコード化する病名登録ツールの開発と導入効果  
大佐賀 敦 (秋田大学医学部附属病院 医療情報部)
- P3-12 DPC 副傷病の精緻化に向けて解決すべき課題  
岩穴口 孝 (鹿児島大学病院 医療情報部)
- P3-13 DPC 検討会にみる課題と成果  
松本 久美子 (高知大学医学部附属病院 診療情報管理室)
- P3-14 質評価のための情報基盤の構築 — 評価指標の組織的活用効果 —  
佐藤 菊枝 (岐阜大学医学部附属病院 経営企画課)
- P3-15 エンドユーザー向け診療情報活用システムを用いた診療情報抽出業務の効率化  
西川 太樹 (岐阜大学医学部附属病院 経営企画課)

- P3-16 電子カルテと協働する経営分析システム  
 ～診療行為にもとづく会計情報参照のための Web 連携～  
 松井 孝文（愛媛大学 医学部医事課）
- P3-17 公立大学病院における臨床指標の作成  
 芝 直人（和歌山県立医科大学附属病院 医療情報部）
- P3-18 国立大学病院データベースセンター保有データを活用した分析事例について  
 新城 大輔（東京大学医学部附属病院 国立大学病院データベースセンター）

#### 4 看護

- P4-01 入院前患者情報聴取から患者・家族支援のための他職種連携  
 医療ソーシャルワーカーとの連携の一例  
 岩田 春子（島根大学医学部附属病院 入退院管理センター）
- P4-02 看護必要度の評価入力漏れの現状 緊急入院数・病棟稼働率からわかったこと  
 岡村 大介（東京大学医学部附属病院 看護部）
- P4-03 看護記録に基づいた正しい看護必要度評価に向けての取り組み  
 ～看護必要度評価の監査を実施して～  
 生田 道曜（鳥取大学医学部附属病院 看護部）
- P4-04 看護必要度評価の根拠となる看護記録に向けての取り組み  
 今野 笑子（秋田大学医学部附属病院 看護部）
- P4-05 看護必要度に基づく看護記録の監査体制の確立  
 ～適正な看護必要度の評価を目指して～  
 横田 三樹（徳島大学病院 看護部）
- P4-06 看護記録監査の現状～看護の質の向上を目指して～  
 石田 伸子（徳島大学病院 看護部）
- P4-07 電子カルテ化後の指示システム運用の現状と課題  
 山本 嘉代（熊本大学医学部附属病院 看護部 看護情報委員会）
- P4-08 チーム医療を推進する電子指示システムの意義  
 —多職種間協働を実現するための指示関連業務の標準化—  
 鳥越 千秋（鹿児島大学病院 看護部）
- P4-09 注射業務プロセス比較からみる照合システムの導入  
 疋田 智子（京都大学医学部附属病院 看護部）
- P4-10 電子カルテ フェリカポートの活用  
 高木 英子（富山大学附属病院 看護部）
- P4-11 iPod touch を使用した看護業務支援システム  
 山口 ひろみ（高知大学医学部附属病院 看護部）

- P4-12 iPod touch での看護支援システムを導入して  
大島 美智子 (高知大学医学部附属病院看護部)
- P4-13 看護業務の可視化に向けた取り組み モバイル端末を活用した参加観察型タイムスタディ調査結果から  
岡田 みずほ (長崎大学病院 看護部)
- P4-14 業務量調査による看護補助者増員の効果の検討  
細野 貴広 (群馬大学医学部附属病院 看護部)
- P4-15 看護情報担当副看護師長に寄せられた問い合わせ内容に対する支援  
小手川 千夏 (大分大学医学部附属病院 看護部)
- P4-16 新人看護職員就職時集合教育における情報管理・医療情報システム研修の課題  
間所 恵子 (広島大学病院 看護部管理室)
- P4-17 キャリア形成支援システムの開発  
～管理者のキャリア管理と個人のキャリアナビゲーション管理の一元化～  
木田 菊恵 (徳島大学病院 看護部)
- P4-18 キャリア形成支援のためのキャリア・ポートフォリオの開発  
金澤 昭代 (徳島大学病院 看護部)

## 5 歯科

- P5-01 歯科診療用ユニットの効率的運用を目的としたユニットマネジメントシステムの開発  
伊藤 豊 (北海道大学病院 医療情報企画部)
- P5-02 歯科大規模診療エリアにおける再診予約情報と連動した外来患者誘導システムの開発  
日浅 恭 (広島大学病院)
- P5-03 一診療科のための歯科部門システム導入の一事例  
荻谷 敬士 (三重大学医学部附属病院 病院事務部  
医療サービス課医療情報管理係)
- P5-04 徳島大学病院歯科電子カルテシステム更新に関する現状評価ならびに今後の課題  
尾崎 和美 (徳島大学 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部)
- P5-05 徳島大学病院における技工管理システムの改善と検証について  
嶋居 浩平 (徳島大学病院 診療支援部歯科医療技術部門技工室)
- P5-06 徳島大学病院における歯科衛生士業務記録の標準化及び効率化への取り組み  
一歯科衛生士業務記録内容分析から一  
真杉 幸江 (徳島大学病院 診療支援部 歯科衛生士)
- P5-07 ネットワークを用いたチーム医療支援の試み  
山田 幸夫 (徳島大学病院 診療支援部歯科医療技術部門技工室)

## テーマポスター

### 病院長のトップマネジメントを支える事務組織

～病院事務部門に求められる組織，人材とその確保，キャリアパスの構築～

- |    |  |                |
|----|--|----------------|
| 1  | 処理票管理システムを活用した取組み<br>～人材育成と情報共有のためのツール、今後の課題～                            | 秋田大学医学部附属病院    |
| 2  | 病院マネジメントと人材育成  | 群馬大学医学部附属病院    |
| 3  | 大学病院を支える新しい事務組織<br>～広報体制・研究支援体制の強化～                                      | 千葉大学医学部附属病院    |
| 4  | 経営改善行動計画をサポートする事務組織<br>～トップマネジメントを機能的に実施～                                | 千葉大学医学部附属病院    |
| 5  | 病院長のトップマネジメントを支える事務組織  | 新潟大学医歯学総合病院    |
| 6  | 病院長のトップマネジメントを支える事務組織  | 福井大学医学部附属病院    |
| 7  | 経営基盤強化のための人材育成<br>～アマノミクス放つ4本の矢～   | 信州大学医学部附属病院    |
| 8  | 病院長を支える病院経営企画チームの取組み<br>～診療科別収支の見える化を目指して                                | 浜松医科大学医学部附属病院  |
| 9  | 病院長のリーダーシップを実現するための取り組み  | 名古屋大学医学部附属病院   |
| 10 | 病院長のトップマネジメントを支えるエキスパートの養成   | 滋賀医科大学医学部附属病院  |
| 11 | DPCデータの活用について  | 京都大学医学部附属病院    |
| 12 | 病院長の強力なリーダーシップのために<br>～意思決定を支える4室体制について～                                 | 大阪大学医学部附属病院    |
| 13 | 経営戦略マネジメント能力の向上に資する事務職員の取組み  | 鳥取大学医学部附属病院    |
| 14 | 病院長のトップマネジメントを支える事務体制  | 岡山大学病院         |
| 15 | 全医療人のキャリア形成と定着を目指して<br>～産声をあげた医療人育成センター～                                 | 山口大学医学部附属病院    |
| 16 | 香川大学医学部附属病院における総合地域医療連携センター構想<br>メディカルサポートセンター設置を中心とした患者への総合的支援に向けての体制構築 | 香川大学医学部附属病院    |
| 17 | 愛媛大学医学部附属病院ボランティアいきいき会の活動  | 愛媛大学医学部附属病院    |
| 18 | 長崎大学病院における医事課の組織改革（選考採用等）<br>についての取組事例紹介と考察<br>～今後の医事課の在り方と医事課職員の育成を考える～ | 長崎大学病院         |
| 19 | 組織改革とキャリアパス ～Innovationに向けて～   | 熊本大学医学部附属病院    |
| 20 | 大学病院における事務職の戦略的貢献  | 関西医科大学附属枚方病院   |
| 21 | トップマネジメントを支える組織改組と病院経営分析<br>担当者育成<br>～久留米大学病院経営室の事例紹介～                   | 久留米大学病院        |
| 22 | 附属病院の“いま”を伝えるために<br>～第1回国立大学附属病院関係決算実務勉強会～                               | 全国国立大学病院事務部長会議 |